

第2章 子ども（懇談会・出向き調査）の調査結果

1. 回答属性

(1) 調査地点と回答数

アンケートの調査地点と回答数は以下のとおりであり、小学生は273件、中学生は92件、高校生は66件となっている。

表2-1 調査地点と回答数（小学生）

調査地点	回答数
懇談会(7/24 向陵中学校)	35 (12.8%)
懇談会(7/25 ひばりが丘小学校)	90 (33.0%)
Y M C A(8/4 中島公園・Y M C A)	9 (3.3%)
ユースホステル行事(8/6 中沼青少年キャンプ場)	14 (5.1%)
七夕の集い(8/7 東川下小学校体育館)	69 (25.3%)
養護施設入所(8/21 興正学園体育館)	15 (5.5%)
公文学習塾(8/22 公文学習塾西26丁目教室)	41 (15.0%)
合 計	273 (100.0%)

表2-2 調査地点と回答数（中学生以上）

	調査地点	回答数
中 学 生	懇談会(7/24 向陵中学校)	19 (20.7%)
	硬式野球選手(7/31 クラブチーム専用のグラウンド)	45 (48.9%)
	Y M C A(8/4 中島公園・Y M C A)	7 (7.6%)
	ユースホステル行事(8/6 中沼青少年キャンプ場)	3 (3.3%)
	七夕の集い(8/7 東川下小学校体育館)	3 (3.3%)
	養護施設入所(8/21 興正学園体育館)	15 (16.3%)
	計	92 (100.0%)
高 校 生	懇談会(7/24 向陵中学校)	48 (72.7%)
	ユースホステル行事(8/6 中沼青少年キャンプ場)	1 (1.5%)
	七夕の集い(8/7 東川下小学校体育館)	1 (1.5%)
	青少年女性活動協会行事(8/21 ちえりあ)	1 (1.5%)
	養護施設入所(8/21 興正学園体育館)	15 (22.7%)
計	66 (100.0%)	
合 計		158

(2) 年齢

アンケート回答者の年齢構成は、図2-1、図2-2のようになっている。

図2-1 年齢(小学生)(N=273)

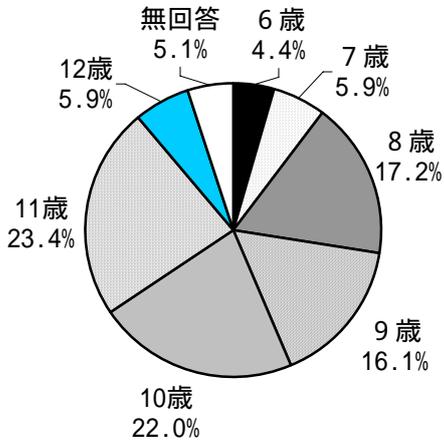
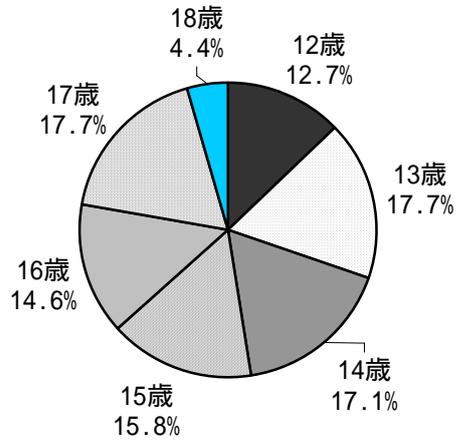
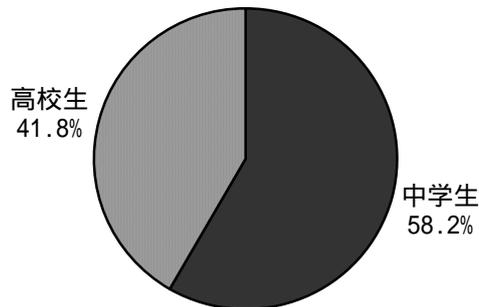


図2-2 年齢(中学生以上)(N=158)



また、中学生以上の学校をみると、「中学生」が58.2%、「高校生」が41.8%となっている。

図2-3 学校(中学生以上)(N=158)



(3) 性別

性別については、小学生では、「男性」が45.1%、「女性」が51.3%となっており、中学生以上では、「男性」が62.7%、「女性」が36.1%となっている。

図2-4 性別(小学生)(N=273)

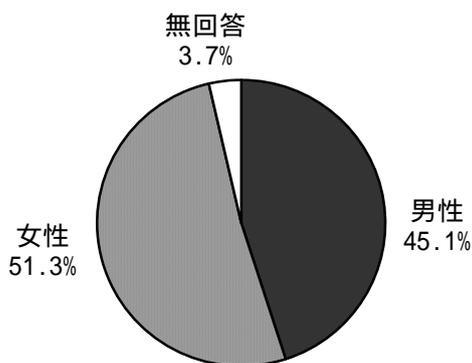
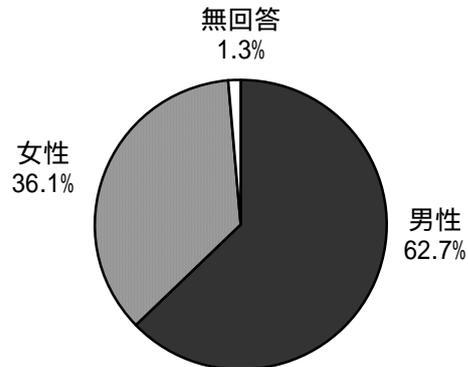


図2-5 性別(中学生以上)(N=158)



2. 自分のことが好きか

自分のことを好きかとたずねたところ、小学生、中学生以上ともに「どちらともいえない」が高く、それぞれ60.1%、73.4%となっている。また、小学生では、「好き」が28.9%と「嫌い」の5.5%を大きく上回っているのに対して、中学生以上では、「好き」が13.9%、「嫌い」が12.0%と同程度となっている。

図2-6 自分のことが好きか
(小学生)(N=273)

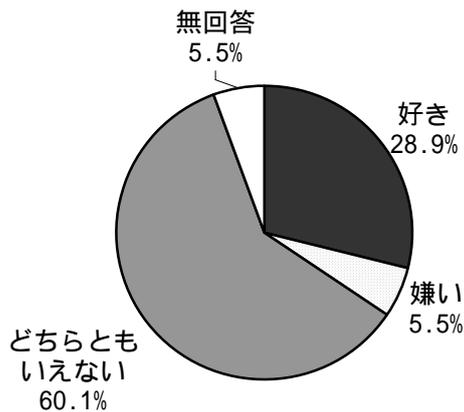
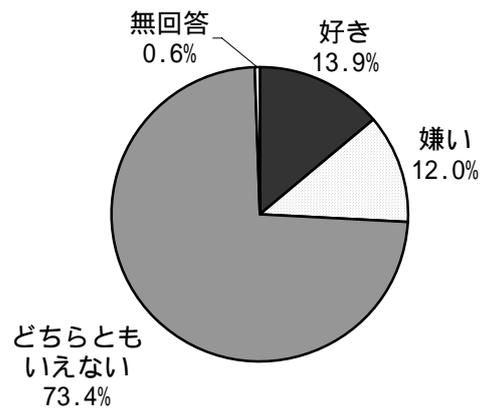


図2-7 自分のことが好きか
(中学生以上)(N=158)



3. 落ち着く場所、好きな所

落ち着く場所、好きな所をたずねたところ、小学生、中学生以上ともに、「家の中」が約90%と高く、次いで「自然の中」、「近所」となっている。一方、小学生では「学校」が64.5%、「教室」が38.1%のところ、中学生以上ではそれぞれ44.9%、19.0%と低くなっている。

図2-8 落ち着く場所・好きな所
(小学生)(N=273、複数回答)

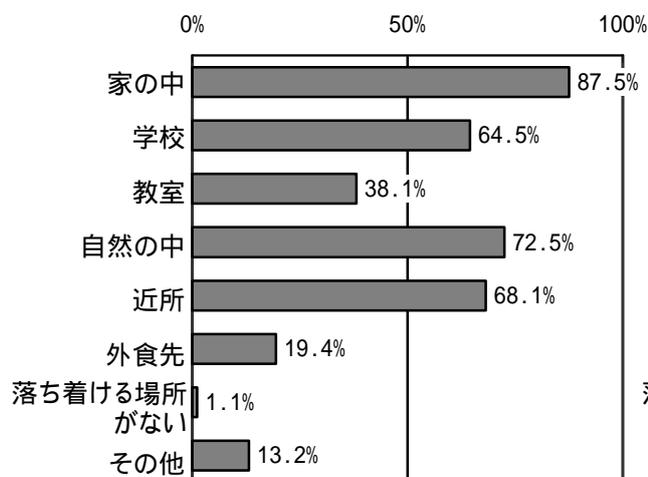
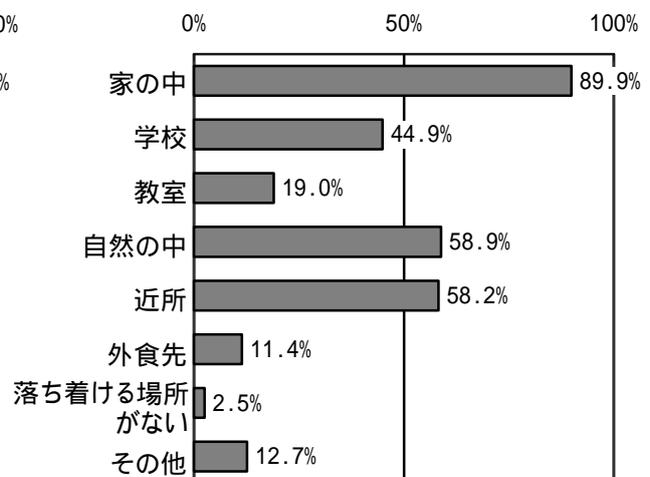


図2-9 落ち着く場所・好きな所
(中学生以上)(N=158、複数回答)



また、落ち着く場所・好きなところを詳細にみると、小学生では、「自分の部屋」が52.4%と最も高く、次いで「学校の教室」が49.1%、「自分の家の居間」が44.7%、「公園」が39.2%となっている。一方、中学生以上では、「自分の部屋」が78.5%と最も高く、小学生より26.1ポイント上回っている。

図2 - 10 落ち着く場所・好きな所（詳細）
（小学生）(N=273、複数回答)

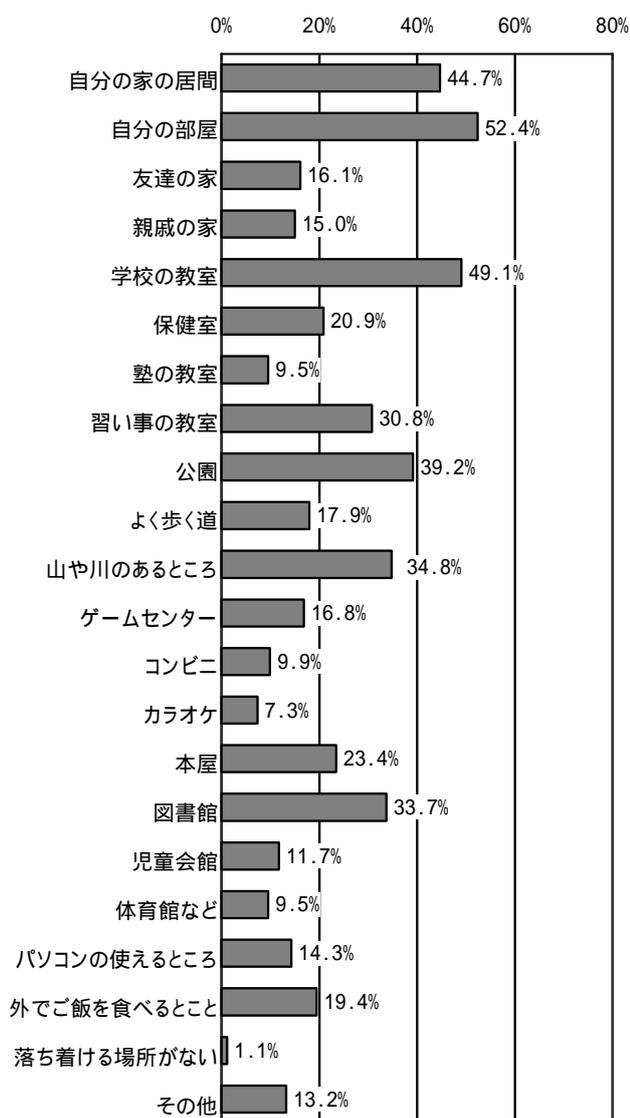
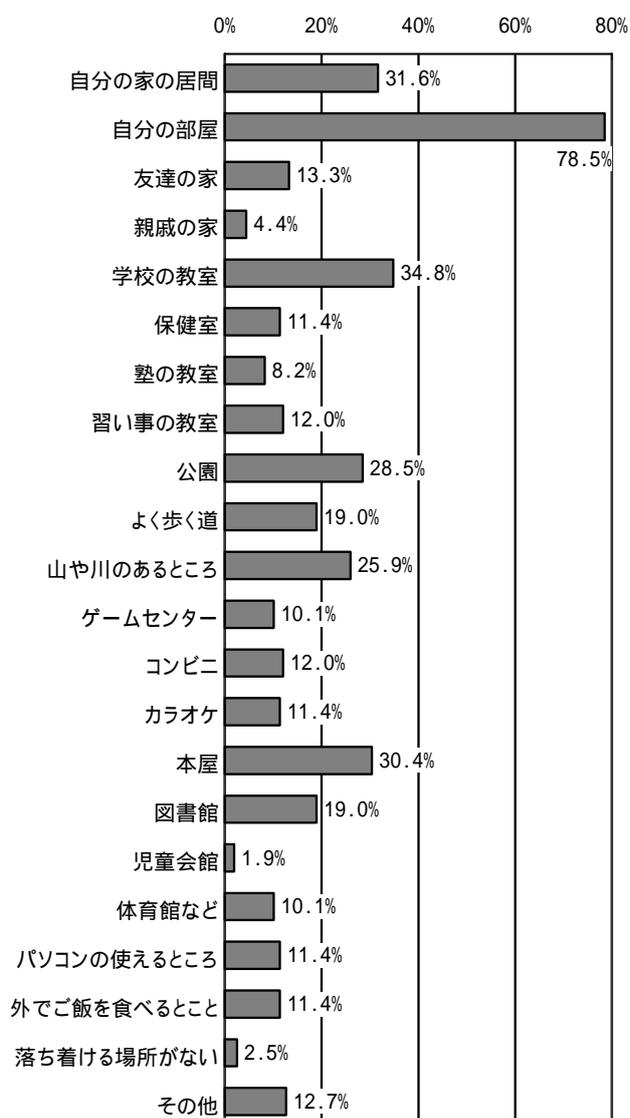


図2 - 11 落ち着く場所・好きな所（詳細）
（中学生以上）(N=158、複数回答)



4. 楽しく、ほっとする時

楽しく、ほっとする時をたずねたところ、小学生、中学生ともに、「自宅にいるとき」が80.0%以上と最も高く、次いで「友達と過ごすとき」、「学校にいるとき」となっている。

また、中学生以上では、「寝ているとき」が45.6%と小学生の28.9%より16.7ポイント高くなっている。

図2 - 12 楽しく、ほっとする時
(小学生)(N=273、複数回答)

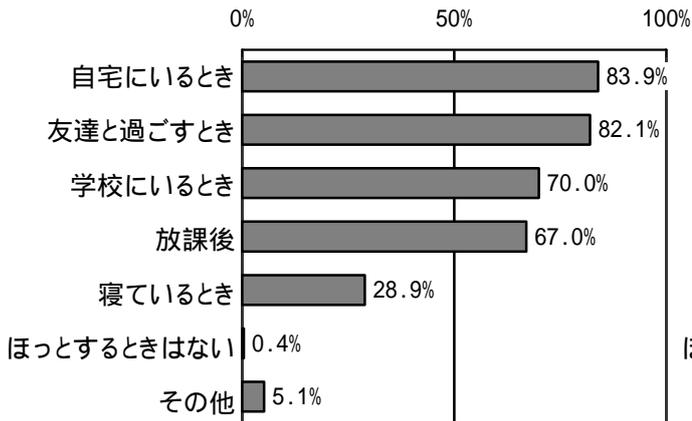
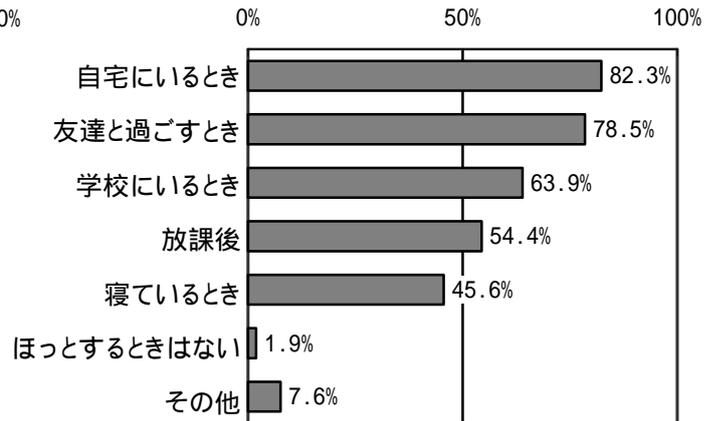


図2 - 13 楽しく、ほっとする時
(中学生以上)(N=158、複数回答)



また、楽しく、ほっとする時を詳細にみると、小学生では、学校にいるときの「休み時間のとき」が57.1%と最も高く、次いで、放課後の「遊んでいるとき」が56.8%、友達と過ごすときの「外で遊んでいるとき」が50.9%となっている。一方、中学生以上では、友達と過ごすときの「おしゃべりをしているとき」が60.1%と最も高く、次いで学校にいるときの「休み時間のとき」が48.7%、放課後の「遊んでいるとき」が47.5%、となっている。

図 2 - 14 楽しく、ほっとする時（詳細）
（小学生）(N=273、複数回答)

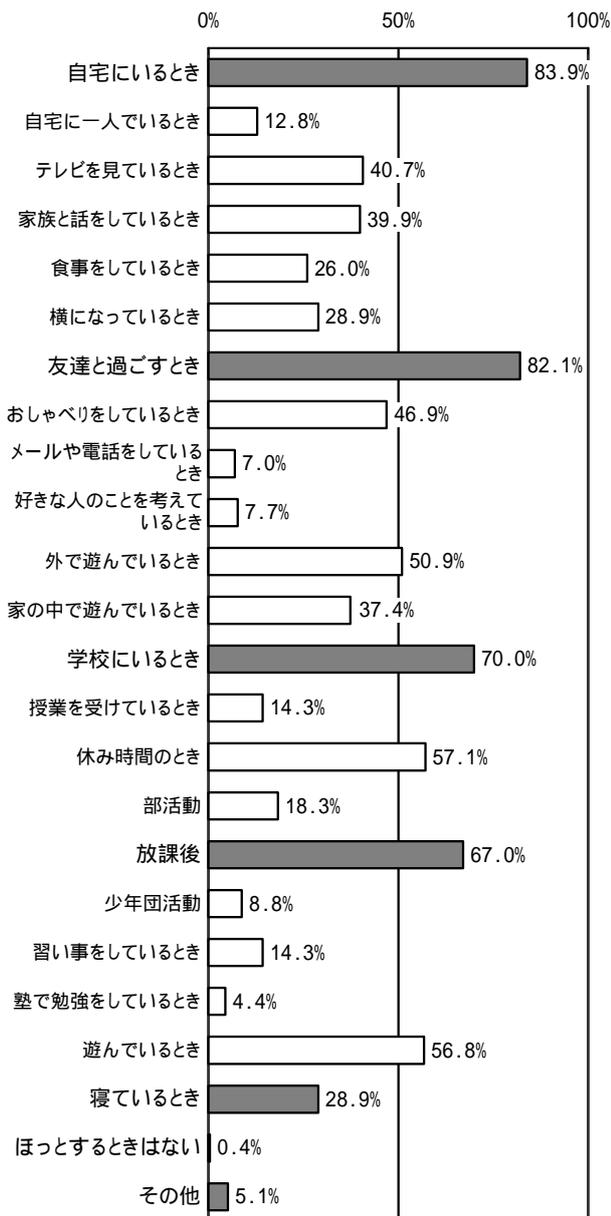
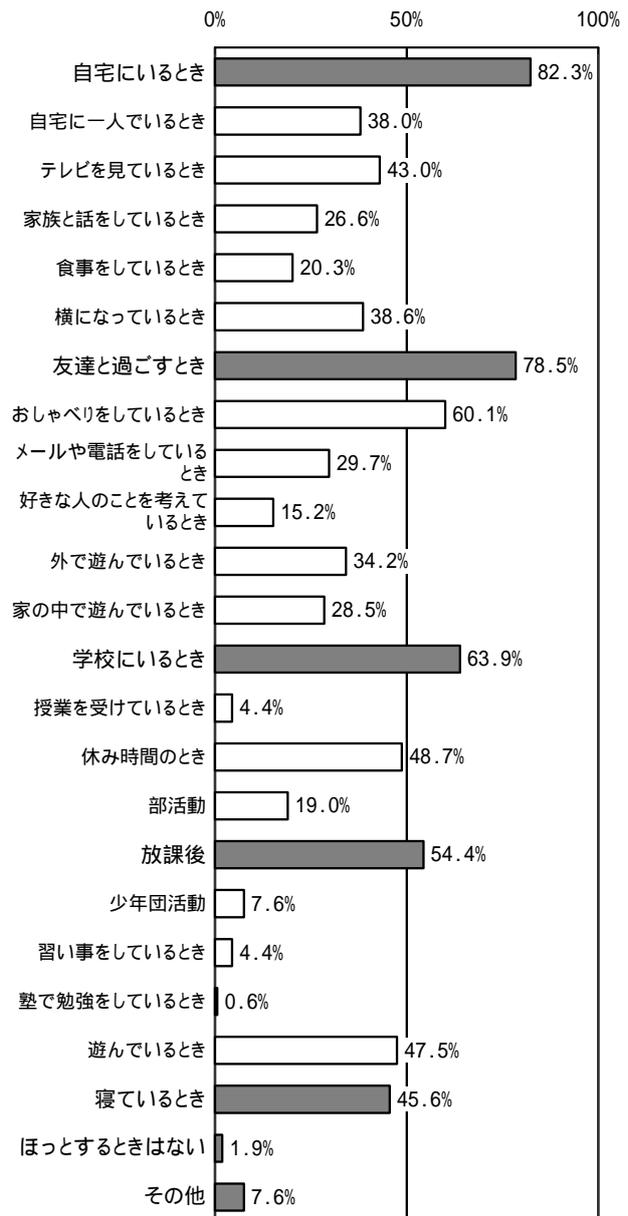


図 2 - 15 楽しく、ほっとする時（詳細）
（中学生以上）(N=158、複数回答)



5. 本当は「やりたいこと」と思っているのに、できないこと

(1) 「やりたい」と思っているのに、できないことの有無

本当は「やりたい」と思っているのに、できないことをたずねたところ、小学生、中学生以上ともに「ある」が「ない」を上回っており、小学生では、「ない」より13.9ポイント、中学生以上では15.8ポイント高くなっている。

図2-16 「やりたい」と思っているのに
できないことの有無

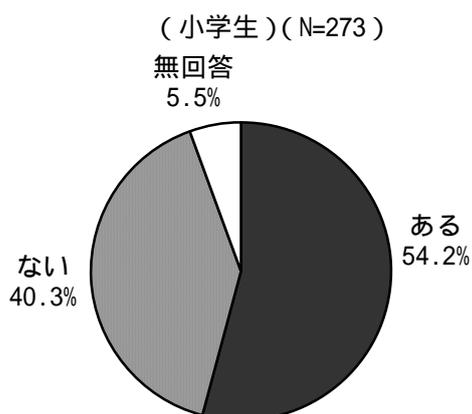
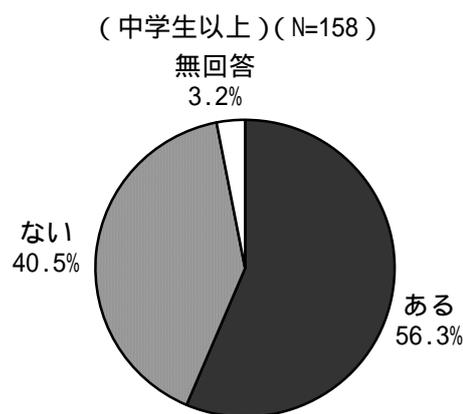


図2-17 「やりたい」と思っているのに
できないことの有無



(2) 「やりたい」と思っているのに、できない理由

「やりたい」と思っているのに、できないことがあると答えた小学生149人と、中学生以上89人に、その理由をたずねたところ、小学生では、「親にダメといわれているから」が41.2%と最も高く、次いで「時間がないから」が35.1%となっており、一方、中学生以上では、「時間がないから」が62.9%と最も高く、次いで「お金がないから」が56.2%となっている。

図2-18 できない理由
(小学生)(N=148、複数回答)

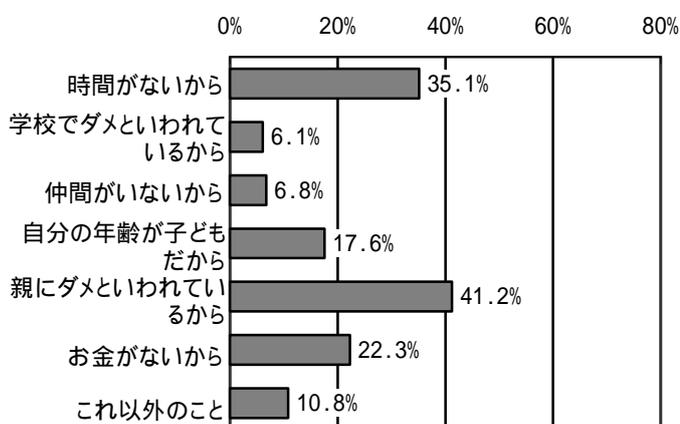
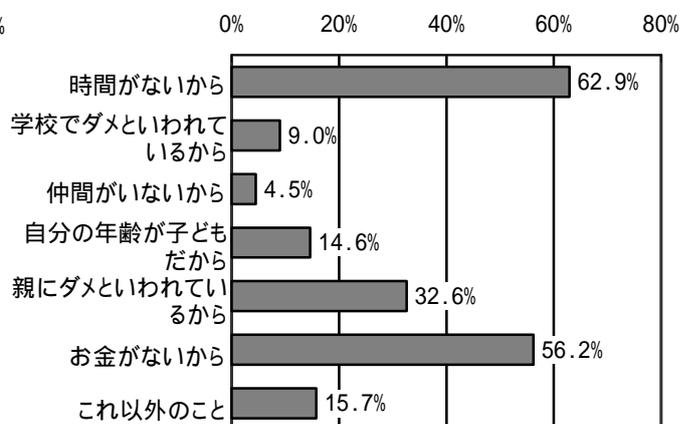


図2-19 できない理由
(中学生以上)(N=89、複数回答)



6 . 大切だと思うこと

大切だと思うことをたずねたところ、小学生では、「勉強すること」、「友達がいること」がともに50%以上と高く、次いで「遊ぶこと」、「夢があること」が45%以上となっている。一方、中学生以上では、「友達がいること」が72.2%と最も高く、次いで「夢があること」が63.3%となっている。また、小学生では「大人の言うことを聞くこと」が28.6%と高くなっているのに対し、中学生以上では6.3%と低くなっている。

図 2 - 20 大切だと思うこと
(小学生)(N=273、複数回答)

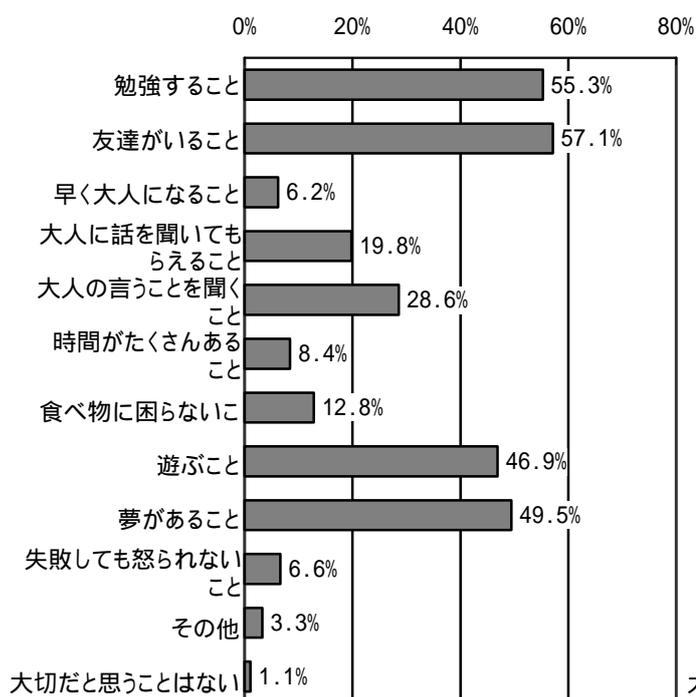
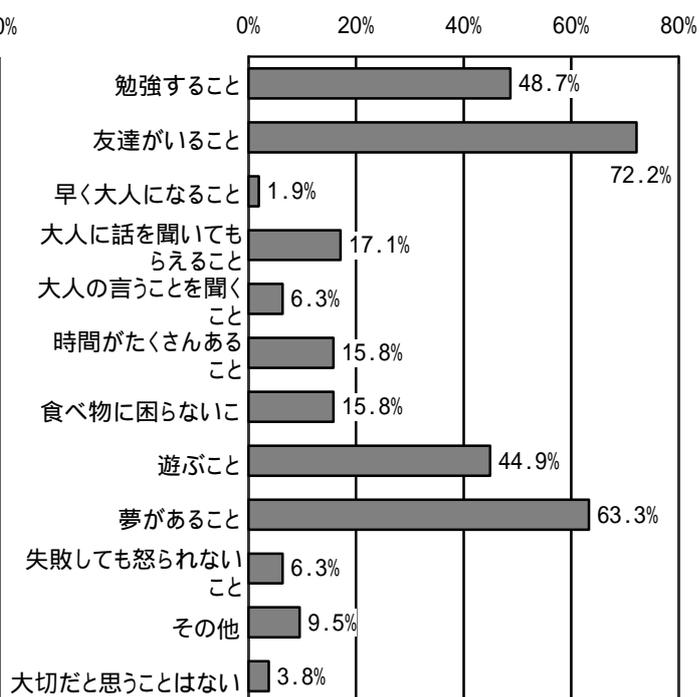


図 2 - 21 大切だと思うこと
(中学生以上)(N=158、複数回答)



7. 大人にしてもらいたいこと

大人にしてもらいたいことをたずねたところ、小学生、中学生以上ともに、「自分のことは自分で決めさせてほしい」が最も高く、それぞれ35.5%、45.6%となっている。次いで、小学生では、「友達や兄弟と比べない」が32.2%、「自由に過ごす時間を確保する」が27.5%となっており、中学生以上では、「決まりや約束を押し付けない」が34.8%、「自由に過ごす時間を確保する」が32.9%となっている。

なお、「してもらいたいことは特にない」は、小学生では12.5%、中学生以上では9.5%となっている。

図2-22 大人にしてもらいたいこと
(小学生)(N=273、複数回答)

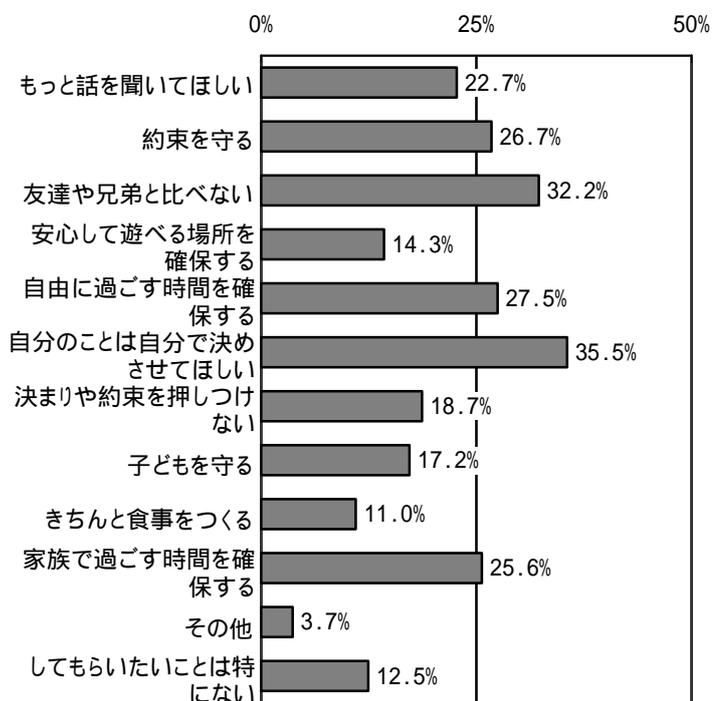
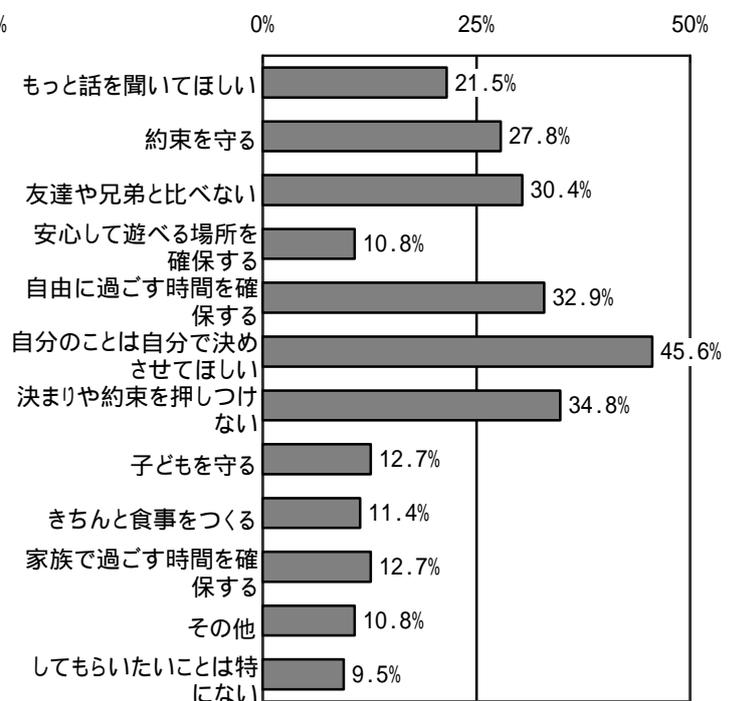


図2-23 大人にしてもらいたいこと
(中学生以上)(N=158、複数回答)



8. 今、悩んでいること

今、悩んでいることをたずねたところ、小学生では、「将来のこと」が34.4%と最も高く、次いで「普通の勉強」が29.3%となっている。一方、中学生以上では、「受験や進路」が49.4%と最も高く、次いで「将来のこと」が44.3%、「普通の勉強」が31.0%となっている。

なお、小学生では、「悩んでいることは特にない」が16.1%のところ、中学生以上では10.8%となっている。

図2-24 今、悩んでいること
(小学生)(N=273、複数回答)

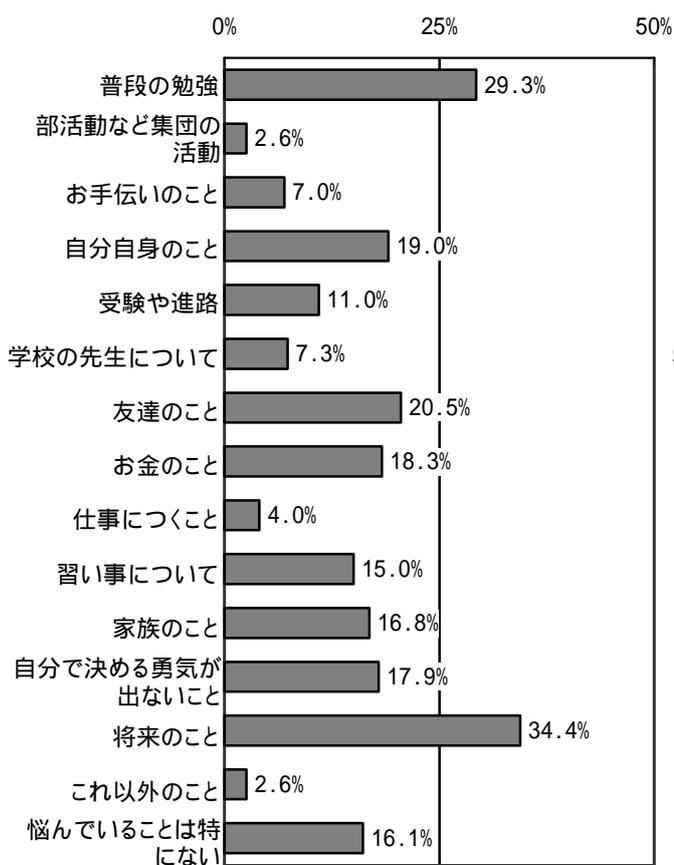
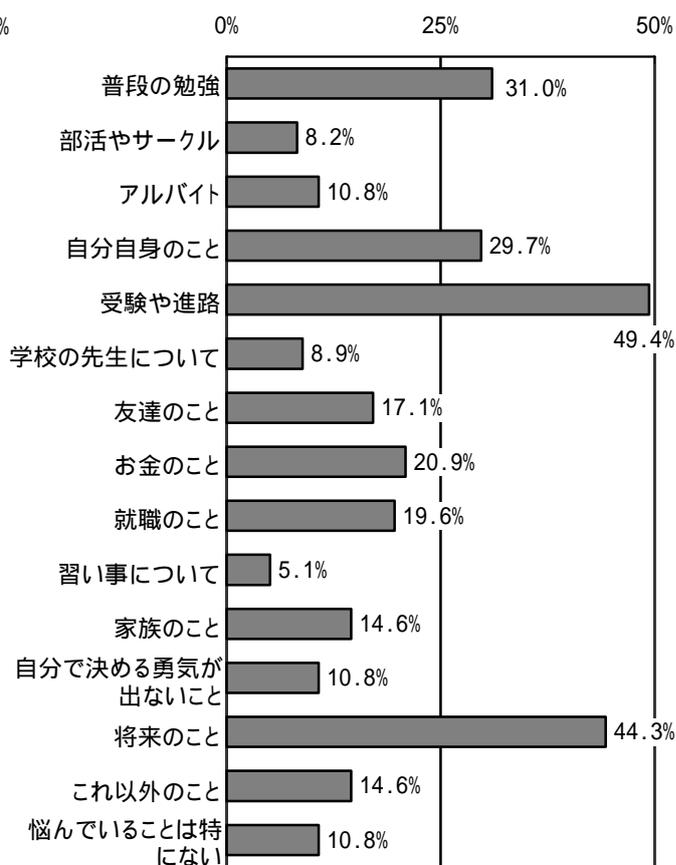


図2-25 今、悩んでいること
(中学生以上)(N=158、複数回答)



9. 困っているときに相談する人

困っているときに相談する人をたずねたところ、小学生では、「親」が65.6%と最も高く、次いで「学校の友達」が41.0%、「兄弟」が22.7%となっている。一方、中学生以上では、「学校の友達」、「学校以外の友達」がそれぞれ55.1%、25.3%と高く、「親」も41.8%と高くなっているものの、小学生に比べて23.8ポイント低くなっている。

図2-26 困っているときに相談する人
(小学生)(N=273、複数回答)

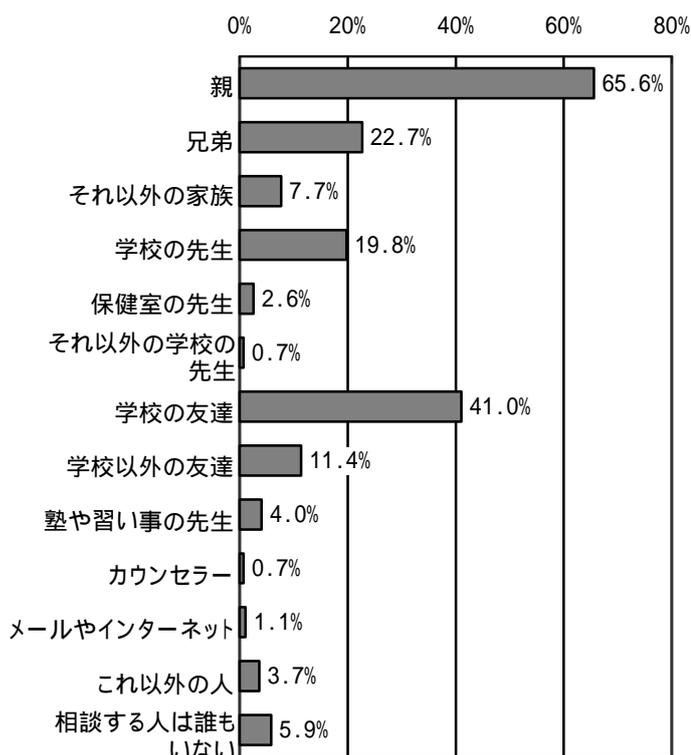
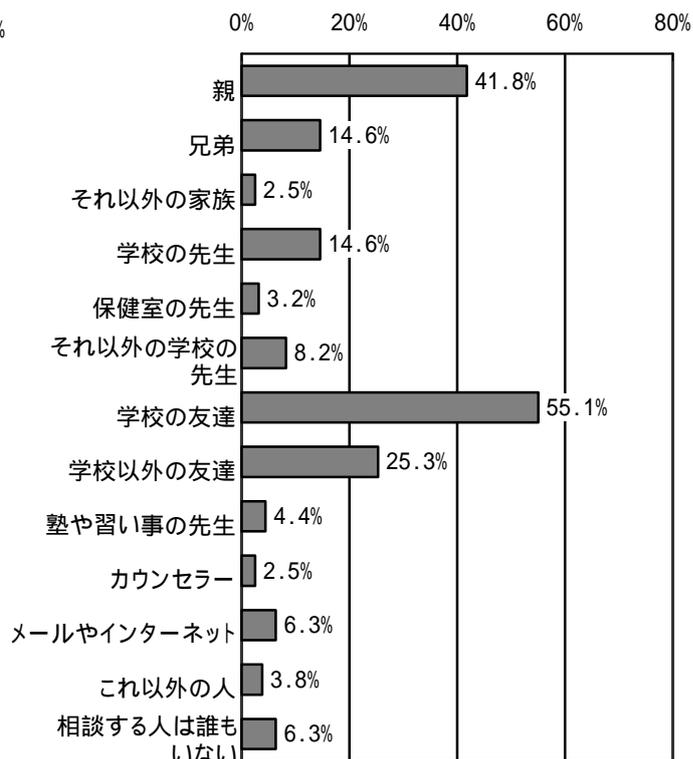


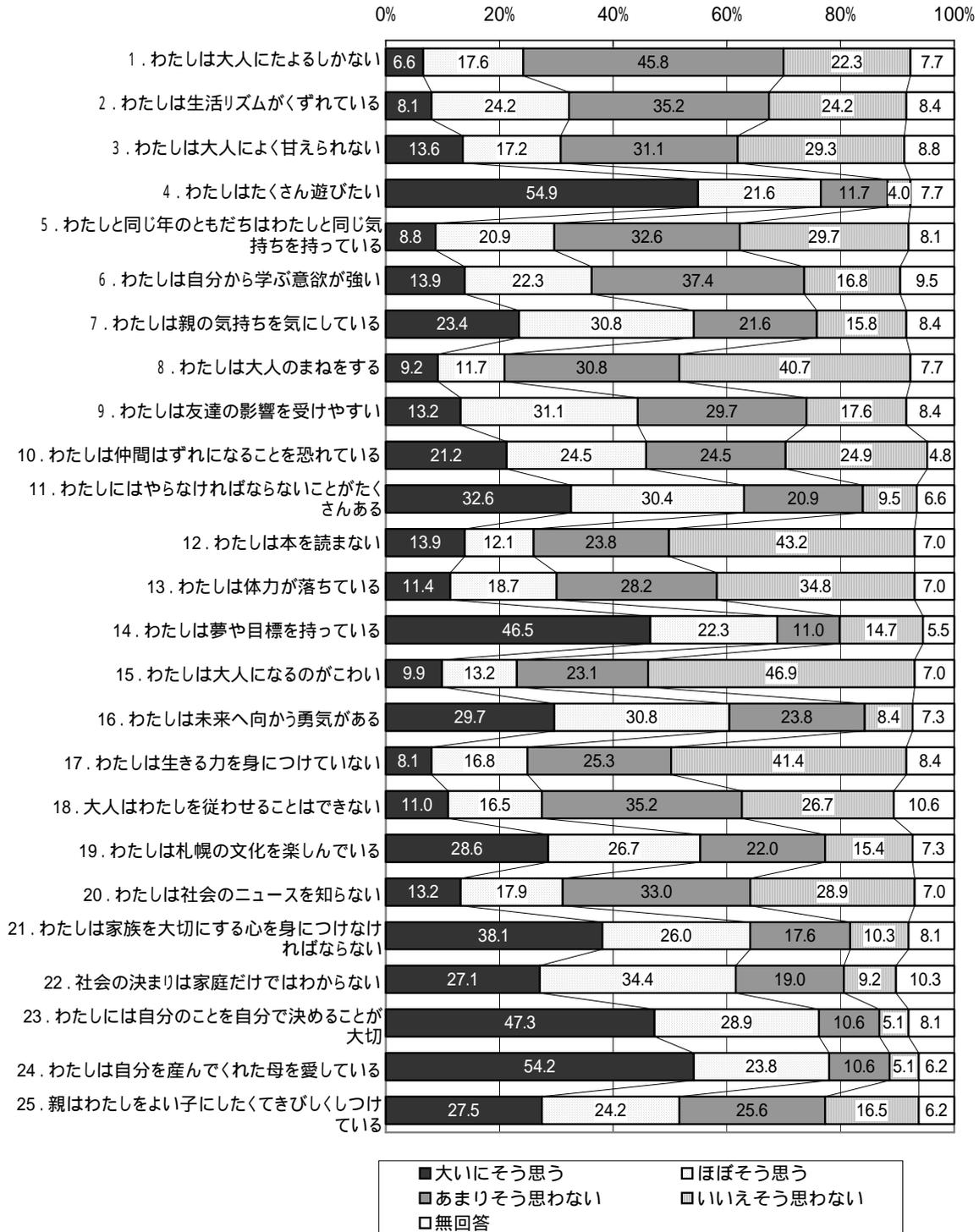
図2-27 困っているときに相談する人
(中学生以上)(N=158、複数回答)



10. 現在感じている子どもの姿

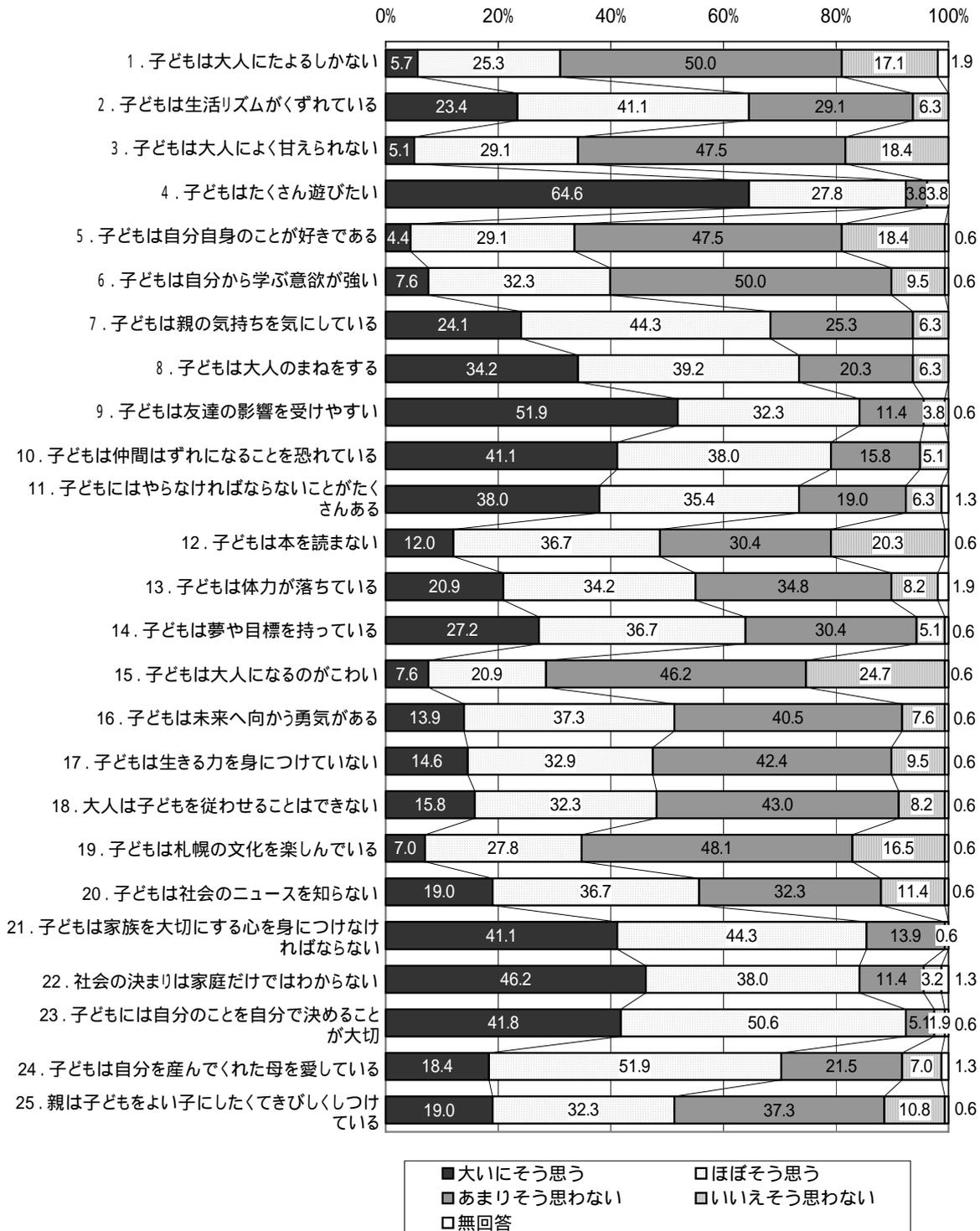
小学生に、現在感じている自分の姿をたずねたところ、図2-28のようになっており、「4.わたしはたくさん遊びたい」、「24.わたしは自分を産んでくれた母を愛している」、「23.わたしには自分のことを自分で決めることが大切」において、「大いにそう思う」の割合が高くなっている。

図2-28 自分の姿(小学生)(N=273)



中学生以上に、現在感じている子どもの姿をたずねたところ、「4.子どもはたくさん遊びたい」、「9.子どもは友達の影響を受けやすい」、「23.子どもには自分のことを自分で決めることが大切」、「22.社会の決まりは家庭だけではわからない」において、「大いにそう思う」の割合が高くなっている。

図2 - 29 子どもの姿（中学生以上）(N=158)



11. 「子どもの権利条例」づくりの認知度

札幌市が「子どもの権利条例」づくりに取り組んでいることを知っているかをたずねたところ、小学生では、「知っている」が42.9%、「知らない」が46.9%となっている。一方、中学生以上では、「知っている」が28.5%、「知らない」が70.3%となっている。

図2 - 30 「子どもの権利条例」づくりの認知度
(小学生)(N=273)

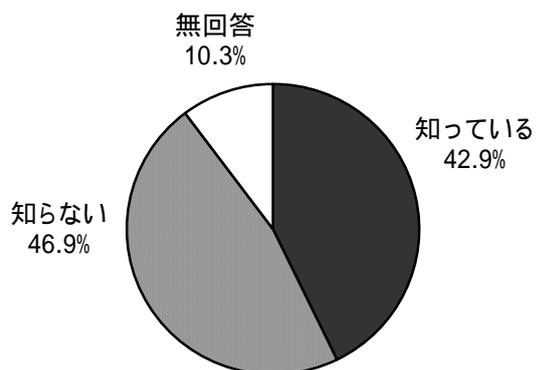


図2 - 31 「子どもの権利条例」づくりの認知度
(中学生以上)(N=158)

